

少数台数のリコール届出の公表について（令和6年7月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和6年7月は17件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みのものについては、こちらへの記載はしていません。

1. Hyundai Mobility Japan 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月5日	外3823	車名：ヒュンダイ 型式：ZAA-NE4LRG 通称名：IONIQ5	4台	令和5年2月7日 ～ 令和5年2月28日
不具合の部位等				
リヤインナーシャフトにおいて、熱処理設備の保守管理が不適切なため、冷却処理が不十分な状態で取り付けられている。そのため、強度不足により走行中にインナーシャフトが破断し、ABSやESCの警告灯が点灯する。そのまま、走行を続けると、走行不能となるおそれがある。				

2. 極東開発工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月8日	5504	車名：トレクス 型式：FFB12402改 通称名：フルトレーラ 他	64台	平成24年10月29日 ～ 令和5年5月24日
不具合の部位等				
コンテナフルトレーラの両側面の中央部に備える方向指示器及び非常点滅表示灯において、設計検討が不十分だったため、自動車の前端からの距離が超過している。このため、保安基準第41条及び第41条の3の基準に適合しない。				

3. アストンマーティンジャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
7月8日	外3831	車名：アストンマーティン 型式：7BA-AM801 通称名：DBX	1台	令和 2年10月27日
不具合の部位等				
フロントプロペラシャフト及びフロントディファレンシャルにおいて、製造時の作業管理が不適切なため、固定するボルトが規定トルクで締め付けられていないものがある。そのため、当該ボルトが緩み、走行時に騒音や振動が発生して前輪の駆動が喪失する。最悪の場合、外れたプロペラシャフトによりクランクシャフトセンサーが損傷すると、エンジンが停止し再始動できなくなるおそれがある。				

4. 日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月10日	5513	車名：日野 型式：2DG-SS1EKHA 通称名：日野プロフィア 他	20台	平成25年 7月25日 ～ 令和 3年11月25日
不具合の部位等				
大型トラクタの連結装置において、誤連結を防止するロックガードの形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、メータ内に連結完了を示すカプラロックのランプが点灯することがある。そのため、走行中にトレーラが分離するおそれがある。				

5. キド車輛工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月10日	5514	車名：いすゞ 型式：2DG-EW6ELH 通称名：ギガ 他	20台	令和 5年10月20日 ～ 令和 6年 4月22日
不具合の部位等				
大型トラクタの連結装置において、誤連結を防止するロックガードの形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、メータ内に連結完了を示すカプラロックのランプが点灯することがある。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると、走行中にトレーラが分離するおそれがある。				

6. 三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月10日	5515	車名：三菱 型式：2KG-FV70HJR 通称名：ふそうスーパーグレート	3台	令和 5年10月13日 ～ 令和 5年12月28日
不具合の部位等				
大型トラクタの連結装置において、誤連結防止部品（ロックガード）の形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態であっても多重表示モニターに正常連結状態を示すカプラーロックインジケータ（緑色）が表示されることがある。そのため、走行中にトレーラが分離するおそれがある。				

7. 横浜車輛工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月10日	5517	車名：三菱 型式：2KG-FV70HJR 通称名：ふそうスーパーグレート 他	19台	令和 5年11月14日 ～ 令和 6年 4月18日
不具合の部位等				
大型トラクタ用連結装置において、誤連結を防止するロックガードの形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、車両のメータ内に連結完了を示すカプラロックのランプが点灯することがある。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると走行中にトラクタとトレーラが分離するおそれがある。				

8. UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
7月10日	外3838	車名：ボルボ 型式：2DG-5S4TBA1 通称名：FH 他	79台	令和 4年 8月 8日 ～ 令和 5年11月21日
不具合の部位等				
大型トラクタの2軸式カプラにおいて、製造工程の作業性改善で設計変更したロックガード（誤連結防止部品）の形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さが合っていない状態で連結操作を行うと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、運転席センタパネル内に連結完了を示す連結確認ランプが点灯することがある。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると、走行中にトラクタとトレーラが分離するおそれがある。				

9. スズキ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月11日	5520	車名：スズキ 型式：5BA-HE33S 通称名：アルト ラパン 他	11台	令和 6年 6月17日 ～ 令和 6年 6月19日
不具合の部位等				
フロントホイールハブとドライブシャフトを締結するナットの締め付けが不適切なため、ナットの締め付けトルクが不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該ナットが緩んで異音が発生し、最悪の場合、フロントホイールハブとドライブシャフトの間に著しいガタが発生するおそれがある。				

10. Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
7月12日	外3839	車名：ジープ 型式：3LA-JL20L 通称名：ラングラー アンリミテッド	1台	令和 5年 3月25日
不具合の部位等				
PHEV 仕様車の駆動バッテリーの一部において、バッテリーセルの内部不良があり、車両火災に至るおそれがある。				

11. 株式会社 NICHIO

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月16日	5507	車名：ニッセキ 型式：YDS-R01E 通称名：HTR608	15台	平成27年 9月10日 ～ 令和 5年 8月18日
不具合の部位等				
ロータリ除雪車の車枠において、車枠強度が不足しているため、車枠に亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、車枠が折損するおそれがある。				

12. 日本フルハーフ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月22日	5508	車名：いすゞ 型式：2RG-NPR88AN 通称名：エルフ 他	77台	令和 3年 5月 6日 ～ 令和 6年 4月18日
不具合の部位等				
3分割式の突入防止装置において、設計時の確認が不十分なため、全幅 2,000 mm以上の自動車に装着した場合、当該装置の両側後面の有効表面積が 420 cm ² に満たない。そのため、保安基準第18条の2に適合していない。				

13. 三菱ロジスネクスト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月25日	5506	車名：ユニキャリア 型式：YDS-M18 通称名：MR4531-3	2台	平成30年 3月22日 ～ 令和 元年 9月12日
不具合の部位等				
フォーク・ローダの運転者室（キャビン）の位置を保持する油圧モータにおいて、油圧回路へエアや不純物等の混入により空転する場合がある。そのため、制動時にキャビンがレール上を滑走し、スライドストップパに衝突することがある。最悪の場合、スライドストップパが破断してキャビンが車体から落下する。				

14. UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月25日	5523	車名：UDトラックス 型式：2PG-CW5DL 通称名：クオン 他	50台	令和 5年 9月11日 ～ 令和 5年10月 2日
不具合の部位等				
後輪二軸リーフサスペンション仕様車において、リアクションロッド固定ボルトの締め付け工具管理が不十分のため、当該ロッド4本を固定するボルトが規定トルクで締め付けされていないものがある。そのため、走行中の振動や衝撃によってボルトが緩み、締結部にガタが発生することにより、ボルトが折損・脱落、最悪の場合、アクスルがリアクションロッドと分離し、走行不能となるおそれがある。				

15. フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
7月25日	外3837	車名：ランボルギーニ 型式：7BA-ZFDGFB 通称名：ウラカン	74台	令和 4年10月14日 ～ 令和 5年 5月26日
不具合の部位等				
運転席シートベルトにおいて、10km/h を超え、20km/h 以下で走行時に運転席シートベルトを解除した場合、シートベルトリマインダーの警告音と警告灯が作動しない。そのため、保安基準に適合しない。				

16. 株式会社マツダE&T

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月30日	5524	車名：マツダ 型式：3DA-KG2P 通称名：CX-8 他	3台	令和 6年 1月31日 ～ 令和 6年 2月26日
不具合の部位等				
道路作業車に備えた散光式警光灯において、電源スイッチの製造工程が不適切なため、スイッチ接点にグリスを塗布していないものがある。そのため、スイッチ操作を繰り返すと、最悪の場合、導通不良により散光式警光灯が点灯中に消灯するおそれがある。				

【参考】

●令和6年7月のリコール届出件数

全体（件）		内 訳（件）	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	2 4（+ 7）	1 3（－ 2）	1 1（+ 9）
輸入車	1 4（+ 1）	8（－ 1）	6（+ 2）
計	3 8（+ 8）	2 1（－ 3）	1 7（+ 1 1）

※ （ ）内は、対前年度同月比

●令和6年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数（件）			対 象 台 数（台）		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	6(－11)	9(－2)	15(－13)	138, 920(－270, 681)	8, 984(－42, 176)	147, 904(－312, 857)
5	12(+2)	16(+9)	28(+11)	360, 641(+75, 824)	161, 635(+143, 833)	522, 276(+219, 657)
6	18(－1)	17(－1)	35(－2)	380, 288(－711, 202)	39, 246(－2, 130)	419, 534(－713, 332)
7	24(+7)	14(+1)	38(+8)	313, 279(－850, 099)	93, 570(－105, 350)	406, 849(－955, 449)
小計	60(－3)	56(+7)	116(+4)	1, 193, 128(－1, 756, 158)	303, 435(－5, 823)	1, 496, 563(－1, 761, 981)

※ （ ）内は、対前年度同月比

（問い合わせ先）

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 千葉・柏原 電話 03-5253-8111（代表）（内線 42361）
--